

No.	プロジェクト名	入力ID	プロジェクト名(英語)を記載してください。	1プロジェクトの種類(下記の中から適切なものを選んでください)	2.主担当教員(1名の氏名)	3.主担当教員のメールアドレス	4.副担当教員の氏名(複数ある場合は「代表学生の氏名を記載してください。）」	5.学生公費の名称(「代表学生の氏名」を記載してください。)	6.学生公費の金額(円)	7.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	8.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	9.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	10.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	11.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	12.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	13.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	14.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	15.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	16.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	17.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	18.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	19.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	20.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	21.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	22.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	23.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	24.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	25.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	26.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	27.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	28.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	29.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	30.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	31.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	32.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	33.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	34.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	35.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	36.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	37.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	38.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	39.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	40.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	41.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	42.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	43.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	44.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	45.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	46.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	47.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	48.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	49.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	50.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	51.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	52.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	53.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	54.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	55.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	56.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	57.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	58.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	59.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	60.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	61.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	62.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	63.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	64.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	65.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	66.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	67.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	68.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	69.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	70.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	71.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	72.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	73.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	74.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	75.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	76.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	77.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	78.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	79.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	80.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	81.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	82.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	83.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	84.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	85.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	86.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	87.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	88.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	89.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	90.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	91.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	92.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	93.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	94.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	95.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	96.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	97.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	98.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	99.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)	100.活動の目的、年次等の活動目標・内容(200文字以内)
1	アグリッジプロジェクト	16		2.学生公費型プロジェクト	志島祥夫	keji@ynu.ac.jp	小林登明	定田和子、藤田紗希	face@ymmail.com	○日本語の日常会話ができるレベルの学生は、農産物や食料の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	農産物や食料の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	関心分野や専門分野のスキル・知識を得ること、仲間や外部関係者と自分と交流し、他者との関わりやコミュニケーション能力、社会人として重要な能力の習得を期待している。	主に大学周辺地域(活動)は、主に大学周辺以外の地域で活動している。	4～6月:組織づくり・研修・報告プロジェクト活動、8～7月:活動、8月:報告書の活動、9月:報告書の活動、10～11月:活動、2月:活動の締めくくりと年度報告	野菜の生産管理など具体的な活動はあっても、参加度は各学生の関わり方による。個々の活動ではなく、相互の状況やイベント等、必要に応じて日程を調整し活動を行う。	https://agridge-chiki-kasseka.localinfo.jp/ https://www.instagram.com/agridge_project https://www.instagram.com/agridge_project																																																																																							
2	BOSAIラボ	26		1.学生立ち上げ型プロジェクト	小松悦史	komatsu_satoshi@ynu.ac.jp	細田暁、稲垣康子			○日本語の日常会話ができるレベルの学生は、農産物や食料の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	BOSAIラボは学生である自分たちが受け持つべき活動であり、地域住民が防災に関する知識やスキルを身につけるための活動である。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	BOSAIラボの活動を通じて、災害に対する基本的な対応や防災に関する知識・能力を習得してほしいと考えている。	横浜市(保土ヶ谷区、神奈川区、南区)	所属するチームによってスケジュールが異なるが、各チームはイベントの開催や成果物の完成を目指している。	週に1回程度	https://bosai-labnyu.jp																																																																																							
3	ロカビプロジェクト	24		2.学生公費型プロジェクト	志島祥夫	keji@ynu.ac.jp	藤 義雄、林 秀雄	藤 義雄、林 秀雄	face@ymmail.com	○日本語の日常会話ができるレベルの学生は、農産物や食料の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	○日本語の日常会話ができるレベルの学生は、農産物や食料の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	関心分野や専門分野のスキル・知識を得ること、仲間や外部関係者と自分と交流し、他者との関わりやコミュニケーション能力、社会人として重要な能力の習得を期待している。	横浜市(神奈川地区、横浜市(保土ヶ谷区、神奈川区、南区))	年間を通してチームごとに設定したテーマや方針に基づいて、取り組み、プロジェクトの成果は1回ごとの報告書にて発表する。	地域の方や企業、行政、そしてメンバー内で定期的に開催するミーティング、1か月に1回のワークショップ・イベントの開催を行う。	*Twitter: @ynu.mobility *HP: https://mobilitydesign.localinfo.jp/ *Instagram: @ynu.localmob																																																																																							
4	コットンおむたきんプロジェクト	7		2.学生公費型プロジェクト	伊藤守直	suimorisan@ynu.ac.jp	藤原佳子、小林登明	山内理紗子	sanai@ynu.ac.jp	○日本語の日常会話ができるレベルの学生は、農産物や食料の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	○日本語の日常会話ができるレベルの学生は、農産物や食料の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	関心分野や専門分野のスキル・知識を得ること、仲間や外部関係者と自分と交流し、他者との関わりやコミュニケーション能力、社会人として重要な能力の習得を期待している。	横浜市(神奈川地区)およびコットンパーバー地区	毎月の地域イベント、11月に行われるフェスティバル	週1回のミーティング、毎月のイベントを運営するメンバー	HP: https://cottonmob.com/ Instagram: @cottoncommunitytown																																																																																							
5	キャンパスの魅力を探るプロジェクト	30		2.学生公費型プロジェクト	藤原康平	fujiwara-teppei@ynu.ac.jp	川井慶	川井慶	kuwai@ynu.ac.jp	○日本語の日常会話ができるレベルの学生は、農産物や食料の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	○日本語の日常会話ができるレベルの学生は、農産物や食料の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	関心分野や専門分野のスキル・知識を得ること、仲間や外部関係者と自分と交流し、他者との関わりやコミュニケーション能力、社会人として重要な能力の習得を期待している。	常盤台キャンパス	長期休暇中に活動は集中することもあります	週1回程度																																																																																								
6	「雑食」の場を拓くプロジェクト	14		2.学生公費型プロジェクト	寺田真理子	terada-mariko@ynu.ac.jp	白谷友樹	白谷友樹	shirahata@ynu.ac.jp	○日本語の日常会話ができるレベルの学生は、農産物や食料の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	○日本語の日常会話ができるレベルの学生は、農産物や食料の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	関心分野や専門分野のスキル・知識を得ること、仲間や外部関係者と自分と交流し、他者との関わりやコミュニケーション能力、社会人として重要な能力の習得を期待している。	北門近くのパーワーポイント、常盤台キャンパスおよび横浜国立大学周辺の地域	学期中の公開講座横浜建設都市学終了後(19:00~21:00)、パワーポイントの、講師の先生や学生、地域住民を交えた雑食会(毎学期5回程度)の開催、不定期に開催される地域の方に向けた雑食の夜のイベント企画。	毎週開催のミーティング(テスト期間等はなし)、都市学後の雑食会(毎学期5回程度)の開催、不定期に開催される地域の方に向けた雑食の夜のイベント企画。	insta@reshokuyasu																																																																																							
7	まちに関わる交流の場のデザイン	1		1.学生立ち上げ型プロジェクト	江口亨	eguchi-horuhiko@ynu.ac.jp				○日本語の日常会話ができるレベルの学生は、農産物や食料の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	○日本語の日常会話ができるレベルの学生は、農産物や食料の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	関心分野や専門分野のスキル・知識を得ること、仲間や外部関係者と自分と交流し、他者との関わりやコミュニケーション能力、社会人として重要な能力の習得を期待している。	2名以上	横浜市西区東区	4月～7月:現地視察、WSなどの運営の手伝い、企画立案、8月～9月:企画立案、10月～3月:企画の実施(後者内容によって変わります)	年間を通して1～2回/月程度のミーティングに加え、イベント開催時は準備を含めて週程度																																																																																							
8	eco-mat-横浜ではココをテーマにした	18	NEW	2.学生公費型プロジェクト	松本真貴	matsumoto-maki@ynu.ac.jp	清野栞和	kiyoshi@ynu.ac.jp		○日本語の日常会話ができるレベルの学生は、農産物や食料の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	○日本語の日常会話ができるレベルの学生は、農産物や食料の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	関心分野や専門分野のスキル・知識を得ること、仲間や外部関係者と自分と交流し、他者との関わりやコミュニケーション能力、社会人として重要な能力の習得を期待している。	横浜市内	今年度からの新規立ち上げ団体であったため、運営の経験が浅い。4月プロジェクト加入希望者を対象に、ワークショップを通じて雑食会を実施する。7～9月:横浜市内の各店舗に雑食会を開催する。10月:横浜市内の各店舗に雑食会を開催する。11月:横浜市内の各店舗に雑食会を開催する。12月:横浜市内の各店舗に雑食会を開催する。	雑食会に関する学習と、身の周りの雑食会の開催に関する経験について学びたい。	今年から始めたプロジェクトのため、既存のメンバーは少ない。雑食会に関する経験が浅い。4月プロジェクト加入希望者を対象に、ワークショップを通じて雑食会を実施する。7～9月:横浜市内の各店舗に雑食会を開催する。10月:横浜市内の各店舗に雑食会を開催する。11月:横浜市内の各店舗に雑食会を開催する。12月:横浜市内の各店舗に雑食会を開催する。	【LINE】Instagram: eco.mat.jp 【Twitter】eco.mat.jp 【Facebook】eco.mat.jp 【YouTube】eco.mat.jp 【Instagram】eco.mat.jp 【Twitter】eco.mat.jp 【Facebook】eco.mat.jp 【YouTube】eco.mat.jp																																																																																						
9	えんじふりー「南地」の学びを生かした横浜「共同プロジェクト」	3		1.学生立ち上げ型プロジェクト	藤原洋子	fujiwara-yoko@ynu.ac.jp	藤原 泰貴、平野 恵子			○日本語の日常会話ができるレベルの学生は、農産物や食料の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	○日本語の日常会話ができるレベルの学生は、農産物や食料の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。農産物の生産・加工・販売の現場で働く機会を得たい。また、都市住民と農産物の生産者との関係性について学びたい。	関心分野や専門分野のスキル・知識を得ること、仲間や外部関係者と自分と交流し、他者との関わりやコミュニケーション能力、社会人として重要な能力の習得を期待している。	横浜市(保土ヶ谷区)豊産山地区	毎月曜日の昼休(12時15分～12時55分)の時間帯に、毎週ある「南地」プロジェクトに参画しているメンバー(主に10月)は、12月1日(土)に「えんじふりー」への参画。*土曜日のえんじふりーに参加できる人とは別途、連絡にお願いしています。*プロジェクトの参画のイベントは5回程度で実施。12月1日(土)に参画する人数はあります。	15日に記載の通り	豊山地区への交通費は、定額がない場合は実費を請求する。あるいは、10月1日(土)に参画する人数はあります。学生会費(1名)を別途に請求しています。	https://www.facebook.com/ynu.mitsutaka/ https://youtu.be/socialaction/yokohamaclubaction																																																																																						





33	ワダゴ	23		Wadayoko	2学生公募型プロジェクト	伊庭穂	yoon-jangshik-mr@ynu.ac.jp	野原卓	山崎彰	yamaoka-acc@ynu.ac.jp	○日本語の日常会話レベルが可能な方は随時・参画可能。 和田町周辺地域における、自治会・町内会や商店街の話し手不足や高齢化、地域活動の停滞といった課題です。学生が積極的に地域へ関わり、行事運営や企画を通してのつながりを生み出し、地域コミュニティの維持と活性化を目指します。	本プロジェクトは、学生が和田町地域に継続的に関わることで、地域との関係性を深め、地域コミュニティの活性化と活性化の両方を目指し、関心することを目指しています。今年度は、地域行事やイベントへの参画を通じた交流の創出に加え、情報発信の強化、新規企画の創出、組織体制の強化活動目標とし、町内会・商店街と連携した企画運営に取り組んでいます。	地元へ根差したイベントのなかで幅広い年齢層の地域住民の方に関わることで、多角的な視点とコミュニケーション能力を養ってほしいと考えています。また、各々が自身の経験への意識もつきあがりにもなると考えています。学生時代にこのような経験ができるのはとても重要であり、必ず将来に活かされると考えています。	神奈川県横浜市保土ヶ谷区石田町 周辺地域	年間を通しておよそ2か月に1回の頻度で町内会や商店街、子供会のイベントに携わっていきたくを定めています。その中でも、7月に予定している「防災フェア」、11月に予定している「ベビーカーフェア」、「地域たかの子祭り」の前後は普段は行かないようなイベントの企画・準備や、当日の運営のために、メンバーの招集を随時行います。状況に応じて対面とオンラインを分け分けます。	HP <a href="https://wadayoko2010.com/">https://wadayoko2010.com/</a> HP(和田丸) <a href="https://wadamaristaffmystite.com/mysite">https://wadamaristaffmystite.com/mysite</a> X(Twitter) <a href="https://twitter.com/wadayoko_jw">@wadayoko_jw</a> X(Instagram) <a href="https://www.instagram.com/wadayoko_jw/">@wadayoko_jw</a>	
34	YNU美芸新巻・模写トリエナーレ	36		YNU Art Festival YOKOKOKU Art Triennial	1.教員立ち上げ型プロジェクト	山崎朱音	yamazaki-shion-ac@ynu.ac.jp	河内留成 金光真瑠 子、伊藤裕美、森野かほり			○日本語の日常会話レベルが可能な方は随時・参画可能。 市内、横浜市、神奈川県にある多種多様な地域課題を取り上げ、ESDの視点から地域課題を課題を見つけていきます。昨年度は「自然・動物」をテーマとし、様々なインスピレーションやアイデアを生み出し、手帳などに合わせた音楽・美術・ダンスに関するワークショップを開催しました。	又話しに合わせた多角的な視点を持つながら地域に目を向けたいと考えています。その過程で芸術活動(音楽、美術、ダンス、文学、演劇など)を通じて表現していきます。また、活動の拡大に向けて「模写トリエナーレ」を開催し、学内外においてパフォーマンスの機会を取ります。なお、2024年度には、赤レンガ倉庫にて「模写トリエナーレ」を開催し、2026年度は学内外の発表を目指しています。	イベントの企画力やパフォーマンス力、各々の専門的スキルを伸ばし合い、協働して活動していきます。	神奈川県内(横浜市中心)	秋学期に行う学内外でのパフォーマンス(11月を予定)に向け、運営を通して企画・準備を行う。	春学期は月1回程度の活動、秋学期に行う学内外でのパフォーマンス(11月を予定)に集中的に活動。	
35	模写トリエナーレ	8		YNU Goat Club	2学生公募型プロジェクト	佐々木結実	sasaki-takichiro-krw@ynu.ac.jp	小池文人 及川敬貴	藤木実生	fujioka-act@ynu.ac.jp	○日本語の日常会話レベルが可能な方は随時・参画可能。 模写のキャンパス内やその周辺の緑地において、里山や在来植物の減少が課題として挙げられます。また、模写の学生と地域住民の交流不足も課題となっています。ヤギを通してこれらの課題を解決していきます。	活動の目的は、ヤギによる除草活動を通じて、キャンパス内の自然環境を保護していくことです。また、ヤギとの触れ合いを通して、学生間や周辺住民との交流を促進することです。活動内容は主に、ヤギのお世話しやヤギによる除草作業です。また、一年を通してヤギや里山に関する勉強会や、大学祭での企画出展、地域の方々と自然を楽しむイベントも行っていきます。今年度は、教育イベントやヤギに関する調査、研究も行っていきます。	ヤギを用いた里山管理の知識、技術の習得です。加えて自然に寄り添い、生き物の世界をみることで責任感を持つことができています。ヤギを通して学生や地域住民などの、多様な相手とのコミュニケーション能力を身に着けることも目指しています。	学内及び模写周辺	一年を通して、里山やヤギに関する勉強会を行います。8月から10月にかけては地域の敷地を借り、学内にヤギを滞在させる準備をします。10月から翌年の3月頃まで、ヤギのお世話と除草作業を行います。牧場の健康状態やキャンパス内の自然環境の変化に応じて、運営やヤギの移動をします。学祭祭の時など、不定期で地域との交流活動を行います。	ヤギが学内にいない期間は2週間に一度、ヤギが学内にいる期間は週に一度、里山やヤギに関する勉強会を行います。ヤギがいる期間は毎日のお世話を番番で行います。また、不定期で学祭祭などのイベント活動を行います。	<a href="https://x.com/yokocomananda">https://x.com/yokocomananda</a> <a href="https://www.instagram.com/yokokougakubu">https://www.instagram.com/yokokougakubu</a>
36	ハマの屋台プロジェクト	22		YNU Waon Project	2学生公募型プロジェクト	野原卓	nohara-takuzo@ynu.ac.jp	石井南巳	ishii-nami@ynu.ac.jp		○日本語の日常会話レベルが可能な方は随時・参画可能。 少子高齢化や人口減少といった社会構造の変化により、地域の活性化や若者の交流が年々失われつつある。これら重要な地域課題と捉え、地域の交流を促進し、持続可能な地域づくりを目指した活動に主体的に取り組んでいる。	活動の目的は、「層」を通じて人々の豊かな生活と交流を促し、「移動」を通じて、地域の活性化に貢献することである。今年度は、移動型イベントの参加することに加え、現在利用している層の改良やワークショップによって、地域の活性化に貢献できるような活動を行う。	地域のの方々や連携し協力するためのコミュニケーション能力やマネジメント能力、層を改良していくための設計・製作の技術を獲得してほしいと考えている。	常盤台地区・羽沢地区	7月・8月・11月に常盤台・羽沢地区で開催されるイベントの開催に併せて、	イベントは週に1度行う。イベントが近くなると週に数度行う可能性もあり	<a href="https://hamanoyatai.com/">https://hamanoyatai.com/</a>
37	YNU(Yokohama Univser-City)	20		YNU Yokohama Univser-City	2学生公募型プロジェクト	三浦倫平	miura-rinpei-rj@ynu.ac.jp	竹本侑生	takemoto-yuu@ynu.ac.jp		○日本語の日常会話レベルが可能な方は随時・参画可能。 横浜みなとみらい地区において、大学生と地域住民のつながりが弱まっている。学生が積極的に地域に参画し、地域の魅力を、学生が持つ10分+10分+10分という課題に取り組む。YNUが持つ多岐にわたる学生と地域双方を巻き込んだ交流の場を創出することをミッションとする。	Yokohama Univser-City(YUC)は、「大学をまちに開く」をコンセプトに掲げた学生主導型プロジェクトです。常盤台キャンパスの空間活用やコミュニティの創出を通して、学生・教職員・周辺住民によって多岐にわたる活動を行っています。今年度は、都市科学部講義履修の章を用いたコンボスを軸に、大学という場所としての魅力を高め、大学と地域の連携作りを強化していきます。	メンバー内で積極的な交流を促し、柔軟なコミュニケーションを取ることができ、また、もう一つ知見や情報を活用し、学生独自のアイデアを生み出し、その実現のために積極的な行動ができます。	横浜国立大学常盤台キャンパス内(主に都市科学部棟と周辺地域)	週末での活動を基本とし、春・秋学期にそれぞれ3回ほどの企画を行う。長期休暇中の期間での活動は基本的には行わない。	週に一度を基本とし、企画案が選んでいる場合は追加の活動も行う。	HP <a href="https://104scape.wixsite.com/yokohama-univser-city">https://104scape.wixsite.com/yokohama-univser-city</a> Instagram <a href="https://www.instagram.com/yokohama_univser_city">@yokohama_univser_city</a> X(Twitter) <a href="https://twitter.com/yokohama_univser_city">@yokohama_univser_city</a>